

小野寺しちすいの七水

小野寺地区には、「小野寺の七水」と言い伝えられている水があります。

灑水井れい（大慈寺）：慈覚大師じかく（円仁えんにん）にお供えした水

岩清水（八幡様の西）：小野寺みちつな通綱という人が、源頼朝みなもとのよりともの怒りを
かっってしまった。そのとき、鎌倉かまくらの石清水いわしみす
八幡宮はちまんぐうにこもって自分は悪くないことを証明
した。その帰りにここの水を持ち帰って、小
野寺の八幡様にかけたら、水がわいてきた。

花川池（浄光寺）：由来は不明

独鈷水とっこ（広戸沢）：慈覚大師が持っていた独鈷で地面をついたところ、水がわいてきた。

白鞍渚しろくら（広戸沢）：慈覚大師にお仕えしていた子どもが、白い鞍くらを
つけた馬と一緒いっしょに沢に落ちてしまったことから
この名前がついた。

清水堂（住林寺）：名誉清水という水がわき出している。

注連引川しめひきがわ（小名路）：昔からこの水で身を清めてから村に入り、寺や
社にお参りした。